

キョウリュウジンの修理報告

平成28年10月1日

Dr 楠瀬 雄章



1 症状

キョウリュウジンの上部と下部を繋ぐジョイントのパーツが破損(回転しない)



2 修理

破損したジョイントのパーツをプラリペア(造形補修材)により造形して修復する事にしました。パーツの原型(破損前の)をDr竹内さんが、碎片を集め再現、その原型から造形補修によりパーツを作成し、ジョイントにはめ込み、ジョイントの修復を試みた



(写真①)



(写真②)



左右のジョイント（向かって右が修復したジョイント）を合わし上部（頭部分）にはめ込み固定



修理完了のはずが、退院前（引渡日）のチェック（Dr 竹内さんに依頼）で足のゆるみ（写真②の留め金打ち込み不足による）があり再治療（入院）になりました

3 再修理

留め金を打ち込み過ぎ写真①の白色のパーツが破断、加えて金属軸とバネを支える基盤(底部)にも亀裂、難しい修理となりましたが修理を試みました

パーツは再造形(バネと留め金を通す6mmの穴あけに再苦勞)、基盤はプラリペアのキットにあった、FRPを使った補修例(ガラス繊維がなく和紙を、結果は失敗)を参考にして補修し(写真③)、留め金の打ち込みに再挑戦しましたが失敗(写真⑥)、修理不能となる所、たまたま同パーツが入手出来(無料)(写真⑦)、依頼者にお断り(臓器移植)承諾を得て、それを使用して修理完了する事が出来ました

(修復は◎ですが、技術は×、倫理面に?? からして 修復度 一 とします)

(写真③)



パーツと基盤の修復終わる

(写真④)



各パーツをはめ打込み開始

(写真⑤)



写真④の裏側底部

(写真⑥)



打込み中、底部破断（原因はパーツ穴高不足（バネに余分な圧縮から反発）、金具の当て方叩き方が考えられます）

(写真⑦)



修理完了



(キョウリュウジンのつぶやき: 今度はOK写真となりますか? Drさん)